



書道部

藤沢周平作品題名を書で表現 in 鶴岡アートフォーラム

藤沢作品の題名
色紙にしたため

鶴岡中央高書道部

鶴岡

作家藤沢周平
さん（鶴岡市出身）

の作品題名を、鶴岡中央高書道部（中里優那部長）が色紙にしたためた書の展示会が、同市の鶴岡アートフォーラムで開かれている。写真。16点があり、物語の感想と書に込めた思いも伝えている。31日まで。

「花のあと」では桜の花がはかなく散る様子を払い



で表現したり、「暗黒剣千鳥」では「剣」を鋭さを表すために素早く、「千鳥」を柔らかい印象になるよう書いた作品が並ぶ。

「夢ぞ見し」は2人が題材に選び、表現の違いも楽しめる。

今年3月に市立藤沢周平記念館で紹介した作品を、

館外展示として並べた。書籍も一緒に紹介している。

2年のの中里部長（17）は「部員一人一人が物語から感じたイメージをしたためた。作品に込めた思いにも注目してほしい」と話している。

（近岡国史）

